



数学教育協議会 全国小学校集会・特別支援教育集会のご案内

学 校 長 様
算数・数学科教員様
研究者・保護者・市民・学生 様

2023年10月

数学教育協議会委員長 伊藤潤一
集会実行委員長 中川真砂代

全国小学校集会・特別支援教育集会を、オンラインで開催します。
いま、教育現場は様々な困難の中にあります。困難を乗り越えるためには何が必要なのか？ その手がかりを見つけるため、今回は「子どもの現状」「算数(数学)教育の課題」「算数(数学)教育の可能性」を学ぶ講演を柱に集会を企画しました。ぜひ、ご参加ください。

日時：2023年12月2日(土) 9:20(受付9:00)～17:00(自由交流あり)

会場：Zoomによるオンライン西己信

主催：数学教育協議会 [http://ami.to/]

日程：

	受 付				
(9:00) 9:20	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; text-align: center;">ミニ講座①(小学校)</td> <td style="width: 50%; text-align: center;">ミニ講座②(特別支援)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;"> わかる・できるが笑顔をうむ 一笑顔がうまれる、わかる・たのしい授業とは— 中川 真砂代(近畿地区数教協) 数えないで数がわかったSちゃん。実体験と構造の理解がわかる・たのしい授業につながりました。高学年算数での授業実践についてお話しします。 </td> <td style="text-align: center;"> 「発達」について考えよう —学習の土台を育てるために— 森川 義幸(九州地区数教協) すべての学習の土台となる「歩く」「目」などの発達についてお話しします。特別支援AMIなかまのダイジェスト版です。 </td> </tr> </table>	ミニ講座①(小学校)	ミニ講座②(特別支援)	わかる・できるが笑顔をうむ 一笑顔がうまれる、わかる・たのしい授業とは— 中川 真砂代(近畿地区数教協) 数えないで数がわかったSちゃん。実体験と構造の理解がわかる・たのしい授業につながりました。高学年算数での授業実践についてお話しします。	「発達」について考えよう —学習の土台を育てるために— 森川 義幸(九州地区数教協) すべての学習の土台となる「歩く」「目」などの発達についてお話しします。特別支援AMIなかまのダイジェスト版です。
ミニ講座①(小学校)	ミニ講座②(特別支援)				
わかる・できるが笑顔をうむ 一笑顔がうまれる、わかる・たのしい授業とは— 中川 真砂代(近畿地区数教協) 数えないで数がわかったSちゃん。実体験と構造の理解がわかる・たのしい授業につながりました。高学年算数での授業実践についてお話しします。	「発達」について考えよう —学習の土台を育てるために— 森川 義幸(九州地区数教協) すべての学習の土台となる「歩く」「目」などの発達についてお話しします。特別支援AMIなかまのダイジェスト版です。				
(9:50) 10:00	開会全体会				
	あいさつ 伊藤 潤一(数教協委員長)				
	基調報告 校長から見て感じる今の学校・先生たち 原 啓司(近畿地区数教協)				
(10:30) 10:45	校長職から見て感じる学力テスト体制、授業スタンダードでじばられる今の学校について語ります。				
	全体講演①				
	「不登校無料電話相談」にみられる学校教育の「生きづらさ」 甲斐 真知子さん(NPO法人 教育相談おおさか)				
12:15	新型コロナ禍の2020年から2023年まで夏休み明けに行った「不登校無料電話相談」。120件に及ぶ相談の中から見えてきた子どもたちの「生きづらさ」と「要因」についてお話しします。				
13:15	休 憩				
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; text-align: center;">選択講演①</td> <td style="width: 50%; text-align: center;">選択講演②</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;"> 量と操作の問題について —算数教育のこれからの課題 上垣 涉さん(三重大学名誉教授) 小学校高学年の教材である〈分数のかけ算・わり算〉と〈割合〉を中心として、算数教育における量と操作の関連について述べます。参加者は事前に資料(A4判17頁・参加者専用ページで公開)を、あらかじめ読んでおいてください。 </td> <td style="text-align: center;"> 一般から特殊へ —特別支援教育のこれからの実践 小田切 忠人さん(琉球大学名誉教授) 教材を型分け(パターン分け)し「一般から特殊へ」と整理することで、やみくもに計算練習を子どもに求めることから教師は解放されました。それなりに子どもも開放されたでしょう。その子どもの自然な姿を見てみましょう。 </td> </tr> </table>	選択講演①	選択講演②	量と操作の問題について —算数教育のこれからの課題 上垣 涉さん(三重大学名誉教授) 小学校高学年の教材である〈分数のかけ算・わり算〉と〈割合〉を中心として、算数教育における量と操作の関連について述べます。参加者は事前に資料(A4判17頁・参加者専用ページで公開)を、あらかじめ読んでおいてください。	一般から特殊へ —特別支援教育のこれからの実践 小田切 忠人さん(琉球大学名誉教授) 教材を型分け(パターン分け)し「一般から特殊へ」と整理することで、やみくもに計算練習を子どもに求めることから教師は解放されました。それなりに子どもも開放されたでしょう。その子どもの自然な姿を見てみましょう。
選択講演①	選択講演②				
量と操作の問題について —算数教育のこれからの課題 上垣 涉さん(三重大学名誉教授) 小学校高学年の教材である〈分数のかけ算・わり算〉と〈割合〉を中心として、算数教育における量と操作の関連について述べます。参加者は事前に資料(A4判17頁・参加者専用ページで公開)を、あらかじめ読んでおいてください。	一般から特殊へ —特別支援教育のこれからの実践 小田切 忠人さん(琉球大学名誉教授) 教材を型分け(パターン分け)し「一般から特殊へ」と整理することで、やみくもに計算練習を子どもに求めることから教師は解放されました。それなりに子どもも開放されたでしょう。その子どもの自然な姿を見てみましょう。				
(14:45) 15:00	全体講演②				
	僕に方程式を教えてください—算数・数学教育にできること 瀬山 士郎さん(群馬大学名誉教授)				
(16:30) 16:40	定年退職後、いくつかの少年院で矯正教育の数学教育に参加しました。テーマを絞り、基本を教えることで、少年たちの学力が回復し、かつ自己肯定感を養えたことを実感しています。算数・数学教育の可能性を語ります。				
17:00	閉会全体会				
	自由交流				
(18:30)	聞きたいこと・話したいことを自由に交流しましょう！ オンライン学習会〈算数カフェ〉〈特別支援AMIなかま〉〈さんすうくらぶ〉〈月刊『数学教室』を読む会〉などなどのメンバーが、参加者の疑問・質問に何でもこたえます！				

数学教育協議会
春の全国研究集会オンライン[2/3, 4]
全国研究大会(三重・特別支援のみオンライン)[8/10, 11]
※案内・情報は、随時 <http://ami.to/> に掲載します。

資料代：1000円(学生以下無料)
申込み：<http://ami.to/edu/> [11/1から]
問合せ：何森真人(sanssouci@ami.to)

